

正道官衙遺跡

（国指定史跡）

正道官衙遺跡は
城陽市最初の
国指定史跡！



久世郡衙を治めた郡司
（JOY-O エコミテージ 地域資源キャラクター）

正道遺跡は昭和41年(1966)に始まった京都府教育委員会による発掘調査に端を発し、その後の城陽市教育委員会の調査を経て、山背国久世郡の郡衙(郡の役所)跡と想定され、その全容が明らかになりました。歴史的・学術的に価値が高いものとして昭和49年(1974)に「史跡正道官衙遺跡」という名称で史跡に指定されました。今年(2024)は正道官衙遺跡が国の史跡に指定されてから50年という節目の年にあたります。

それを記念して、発見から発掘調査、史跡指定、史跡整備に至るまで、正道官衙遺跡の保護の歩みを振り返ります。展示内容としては、正道官衙遺跡の発掘調査成果及び史跡指定・整備の関連資料、奈良時代の役人の暮らし、南山城地域の官衙関連遺跡を紹介します。また、正道官衙遺跡の復元CGを初公開します。



整備後の正道官衙遺跡



円面硯【正道官衙遺跡出土】
〈城陽市歴史民俗資料館蔵〉



土器類【正道官衙遺跡出土】
〈城陽市教育委員会蔵〉

奈良時代の役所



役人の仕事風景
〈向日市文化資料館蔵〉



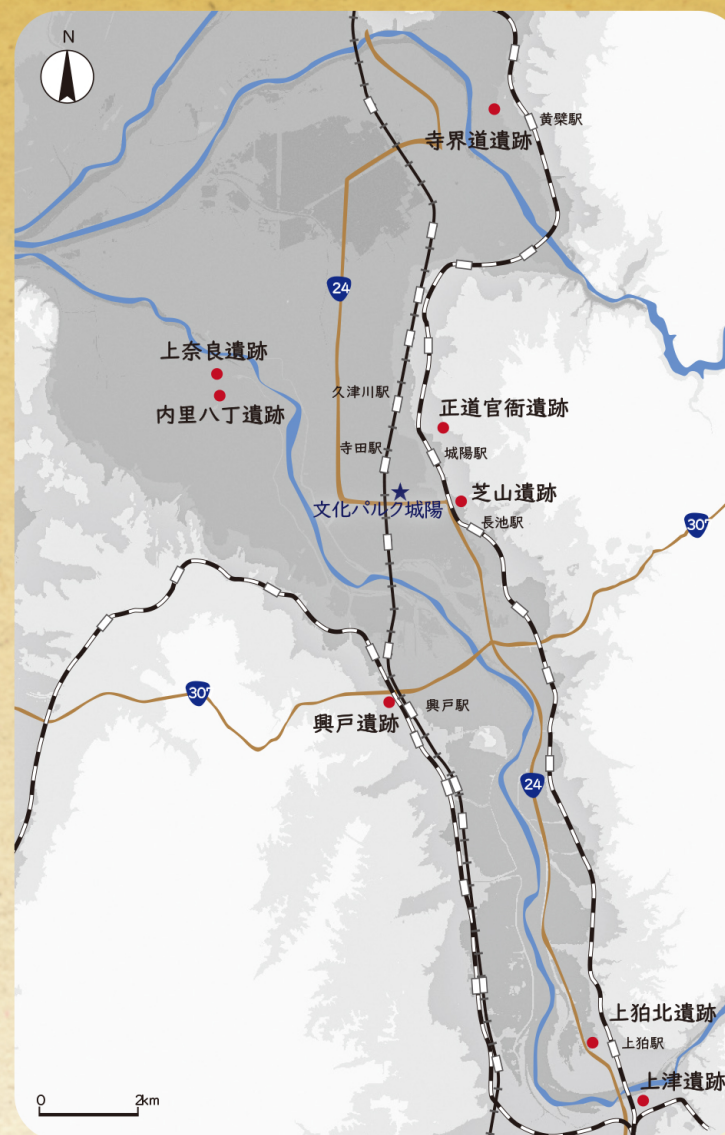
三彩陶器【上津遺跡出土】
〈木津川市教育委員会蔵〉



左：墨書土器「而」
右：墨書土器「考所」【上奈良遺跡出土】
〈八幡市教育委員会蔵〉



二彩陶器【興戸遺跡出土】
〈京田辺市蔵〉



南山城地域における展示予定の遺跡位置図

展示予定の遺跡名(実物資料または写真資料)

寺界道遺跡(宇治市)、内里八丁遺跡・上奈良遺跡(八幡市)、興戸遺跡(京田辺市)、上津遺跡・上粕北遺跡(木津川市)、長岡京跡(向日市)、平城宮跡(奈良市)、正道官衙遺跡・正道廃寺・芝山遺跡(城陽市)